



教員が研究の楽しさを語る

第183回(1/30)高橋 信良先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

演劇の歴史

著者：アラン・ヴィアラ著；高橋信良訳

出版：白水社，2008.4（文庫クセジュ，923）

コメント：西洋演劇はどのように変遷していったのか。フランス演劇の歴史を中心に解説した本です。演劇を知るうえで押さえておくべき基本概念をコンパクトにまとめた本書は、「演ずるとは何か」を考えるための恰好の入門書です。



Book2

笑い：その意味と仕組み

著者：エリック・スマジャ著；高橋信良訳

出版：白水社，2011.5（文庫クセジュ，958）

コメント：「人はなぜ、そして何を笑うのか」という問いのもと、文学、思想、動物行動学、生理学、人類学、生理学を通して笑いの本質を探ろうとした笑いの博物誌。愛想笑いやお世辞笑いなど、演じる動物である人間を再考する切っ掛けとなる本です。



Book3

ヤン・ファールブルの世界

著者：ルック・ファン・デン・ドリス [ほか] 著；佐伯隆幸

[ほか] 訳

出版：論創社，2010.9

コメント：現代の舞台芸術はどこに向かっているのか、その一端を垣間見せてくれる本です。ヤン・ファールブルというベルギーを代表するアーティストを通じて、造形芸術とは何か、とりわけ身体芸術とは何か、を考えるための恰好の書物です。

